



# 大和証券株式会社 高崎支店

社会課題解決型ビジネス

### ESG投資で サステナビリティの 取組を応援する















#### ○ 高崎市

高崎市八島町58-1 027-327-7111 TEL

URL https://www.daiwa.jp/ 代表者 押上 剛人 (高崎支店長)

1999年4月26日 設 立

資本金 2.473億円 従業員 14,889人



CO

### **| 加工企業紹介**|

当社グループでは、公正で活力ある金融・資本市場 を維持・発展させていくことに加え、金融に社会的な 視点を組み込むことで、持続可能な社会の実現に貢献 していきたいと考えています。有価証券投資に際し財 務情報のみならず環境面や社会面の取組等、ESG要 素も評価に加味する投資手法を推進しています。

今後もグリーンボンドをはじめSDGs債の引受け・販 売、ESGファンドの販売等事業活動を通じ、社会課題 の解決に向けて貢献していきます。

#### 経緯•背景

この数年、サステナビリティへの取組が世界的に広 がってきたことで、関連する債券市場の拡大とともに お客様のサステナビリティへの関心も高まっていま す。当社は日本におけるSDGs債(従来のインパクト・ インベストメント債券を含む)のパイオニアとして、公 的機関や金融機関等が社会課題の解決を目的に発行 する債券に、お客様が投資する機会を提供していま す。またESGファンドへ投資することで、金融市場を通 じてサステナビリティの取組に積極的な国や企業など を間接的に応援することができます。

## 資金循環の仕組みづくりを 通じたSDGsの実現に 取り組む

#### ☑ │具体的な取組・成果

社会問題の解決、未来の社会および金融・資本市場 の発展のために取り組んでいます。

#### ●個人投資家向けSDGs債

◇SDGs債の販売について、以下一部例をご紹介します。 イオンモール (サステナビリティ・リンク・ボン ド)、山口フィナンシャル・グループ (グリーンボン ド)、日本ハム(サステナビリティボンド)

2008年3月~2023年3月までの大和証券累計販 売額は8,419億円であり、国内市場における大和証 券のシェアは40%です。

#### ●ESGファンド

ESGファンドとは、サステナブルな社会への移行に 向けESGやSDGs目標達成などに取り組む企業への投 資など、ESGを投資対象選定の主要な要素としてお り、その内容に関する開示が可能である投資信託で

これらに投資することで、金融市場を通じてサステ ナビリティの取組に積極的な国や企業などを間接的 に応援することができます。

当社では、多様なお客様のニーズに応える商品ライ ンアップを拡充しています。

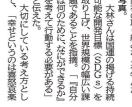
また当社グループは、証券ビジネスを通じて培って きた金融経済分野の知識やノウハウを生かし、様々な 世代に対して、金融経済教育を通じて将来を切り拓く 力や資産管理スキルを身につけてもらうことを目的と した教育プログラムの提供および支援活動などを 行っています。2005年からは公益社団法人ジュニア・ アチーブメント日本が提供するファイナンス・パークに 協力しています。



小学校での出張授業

このプログラムでは、中学生を対象に、生活するうえ で必要な金融や経済の仕組みを学ぶ機会を提供して います。(県内では、群馬大学共同教育学部附属中学 校2年生を対象に実施)

そのほか、ぐんまマラソンへの協賛及び参加、群馬 イノベーションアワードへの協賛、ぐんまプログラミン グアワードへの協賛、高崎雷舞フェスティバルへの協 賛など地域イベントへ積極的に参加をしています。



2021/11/10 上毛新聞掲載

#### 当社にとってのSDGsビジョン

当社グループでは、2018年に「Passion for SDGs ~大和証券グループSDGs宣言~」 を公表しました。SDGsを、世界をけん引する 重要な目標と捉え、グループビジネスを通 じ、企業の経済的価値の追求と社会的課題 の解決を両立することで、サステナブルな社 会の実現に積極的に取り組んでいます。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

当社グループでは、SDGsの達成期限でも ある2030年に向けて、当社グループの目指 すべき姿を「2030Vision」として策定しまし た。「2030Vision」では、「貯蓄からSDGsへ」 をコアコンセプトに、"資金循環の仕組みづ くりを通じたSDGsの実現"に取り組んでい ます。

24 | SDGs GUNMA BUSINESS PRACTICE